

日米
食料供給

母國の爲めに

盡す一の方法

母國送金なるものが其方法宣し

きを得ざる限り百害あつて一利

なきものであることは讀者の常

は深く何等かの方法に依つて

是が爲めに盡さんとする所であつて取て吾人

が事新しく説くを要しない併

し乍ら吾人が其故郷を想ふの念

は深く何等かの方法に依つて

是が爲めに盡さんとする所であつて取て吾人

が事新しく説くを要しない併

し乍ら吾人が其故郷を想ふの念

は深く何等かの方法に依つて

是が爲めに盡さんとする所であつて取て吾人

が事新しく説くを要しない併

し乍ら吾人が其故郷を想ふの念

は深く何等かの方法に依つて

是が爲めに盡さんとする所であつて取て吾人

が事新しく説くを要しない併

し乍ら吾人が其故郷を想ふの念

は深く何等かの方法に依つて

是が爲めに盡さんとする所であつて取て吾人

が事新しく説くを要しない併

米名士訪日沮止案

岡山縣生れ

ダンスの先生自殺

東京體操學校の卒業生
彼女を廻る異性の數々
苦闘を繰り午後四時迄に絶命し
た、そして獨身であつた彼女は
死後檢視の結果姫大

大阪市北區中之島五丁目六五社
交ダンス會主多賀や子(三)死を決したものとしく從つて遺

書等も見當らぬため情夫は皆目
知れぬが常に傍に居た實母ゆ
は「高麗とは別れ後も屢々會
ふだらしく關係は続いてゐたや
うに思ふ」など語るが又一
説には高麗はや子と手を握
や郷里秋田縣に歸る面當がま
今年廿歳の美しい妻を
妊娠するや非常に想問し生の
苦痛から退けて死の世界に急
いたるものらしい(四日)

と題して「アーヴィングの正義

の選手の身體からは零がボタボ

一ルばかりすぐ投げれば當

てあれる擲ねもバースバー

氣しかし我がシ酒れどな

つて陸軍の森君投げても「ボ

が出るといふ始末で海軍の一舉

十五點をせしめられたのは全

て炎焚て氣の毒だつた陸軍側「ナ

ンのそれで石炭が盛きたらう

ばかり起し殊に第四回から

雨が止んだのでヒットを飛ばす

球を打る守備ではダブル

レーハもつて英戦聞したが海

軍側の技に一日長あり

豆鐵砲ではこへんばる

ばかく起し殊に第四回から

仕込みの廣島三場星橋川左

が呼応活躍すれば一方の松林左

氣手は一壘打一本安打三本を放

つて四割の打率率を發揮する

物凄い攻撃と軍歌に拍手に巧

妙な援振りに陸軍側の手下し

四時十分間競争した

連軍側も競争は捷足で散れ

やうなく七回戦廿六勝四敗で

史實上より見なる

武士道と耶穌教の交渉

藤賀君の生産に

驚津生

其筆跡文章等

よと推す

近藤賀さんは萩水日本人當

其交渉があらますから序ながら

其二節を摘録して見ます。博學

藤賀さんは既に御承知の事で

秀が未だ御見に有らぬ

近藤賀さんは萩水日本人當

其交渉があらますから序ながら

其二節を摘録して見ます。博學

ロスアンゼルス (土日)
新着船二隻

羅府港訪問

高松宮御乗艦の場

七月二十一日入港

アンドロ港に來り五日間碇泊

二十五日出港の旨當市領事館

方面航行の途次七月九日本ノル

入港同十三日出港七月二十一

帝國陸艦隊出雲、磐手、浪間

の三艦は練習生多數を乗せ兩洋

方面航行の途次七月九日本ノル

アンドロ港に來り五日間碇泊

二十五日出港の旨當市領事館

に公報があつたが練習隊は從來二隻であつたのが三隻となつたのは今年が初めて勿論

乗組候生も其數を増した

五十名の新會員を募集した

婦人俱樂部後援ハラク

ド申産婦院の婦人よりなる婦

繁昌策を講するの協議をするが今役員大舉運動の結果

ニフクを催し又日本人街繁昌策

催し昨年の如く同主催のビク

として何にかの方法の下に大に

ニフクを催すが今役員大舉運動の結果

五十名の新會員を募集した

庭園の改進等をなしたが財力報じたる處なるが今回同地に南

半世以上一英加の總收入は六百

